

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		防犯灯維持管理事業					②事業番号		5103				
③事業類型		4. 施設等維持管理事業			④開始年度		— 年度		⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし		
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		要綱		計画等		その他 法令等の名称	
⑦実施手法		○ 直営		全部委託		一部委託		補助・負担		その他			
⑧関連予算科目コード		款		7		項		2		目		3	
⑨担当部名		都市整備部		⑩担当課名		道路課		会計		一般会計			

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1) 対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 防犯灯		① 灯本数		本	
②		②			
(2) 事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
防犯上必要な防犯灯の新規設置及び器具の補修保全を行う。		① 新規要望件数		件	
		② 修繕要望件数		件	
		③			
(3) 意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
防犯灯の適正な設置と不備が無いよう維持管理をする。		① 新規設置本数		件	
		② 計算式			
		② 修繕対応件数		件	
		③ 計算式			
(4) 結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
市民生活の防犯の向上を図る。		政策(章) 4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち			
		施策大(節) 2 暮らしの不安や生活をおびやかす危険のないまちをめざします			
		施策中 1 防犯対策の充実			
		施策小 1 防犯活動の充実			

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	灯本数	本	5,938	5,986	6,006	—	—	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	新規要望件数	件	11	24	20	—	—	
活動指標②	修繕要望件数	件	15	11	18	—	—	H29年度に街路灯 を長期リース契約に てLED化を実施した。
活動指標③								
成果指標①	新規設置本数	件	9	24	20	—	—	
成果指標②	修繕対応件数	件	15	11	18	—	—	事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	1.30	1.40	1.19	1.19		
	正職員	人	0.15	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		H29年度に街路灯 を長期リース契約に てLED化を実施した。 その他特定財源に ついては、水なす基 金からの繰入金。
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	10,916	11,350	9,177	9,177		
	直接事業費	千円	34,681	30,149	31,145	31,669		
	総事業費	千円	45,597	41,499	40,322	40,846		
財源内訳	国庫支出金	千円	4,320	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	100	0		
	一般財源	千円	41,277	41,499	40,222	40,846		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	防犯の向上から開始されたと考える。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	省電力化及び地球環境に配慮したLED器具への変更。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	市民の安心・安全を確保することができる。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	市の財産として適切な管理をする必要がある。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	安心・安全に対するニーズは年々高まっていることから妥当である。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	管理物件であり、また長期リース契約にてLED化を実施したため休止・廃止は出来ない。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

B

⑤期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	新規の要望が多く、全てに対応できているわけではない。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	防犯灯設置要綱の制定により、必要性を考慮した防犯灯の設置を心がける。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

C

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	現状の防犯灯の位置等をデータベースで管理が可能となったため、地元区、自治会と協力し維持管理を図る。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	地元の要望による防犯灯の新設については、負担金等を求めるなど、歳入確保を検討する必要がある。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	コスト削減や受益者負担等について改善の検討が必要	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(年まで) (年から) (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など		新設防犯灯の一括発注によるコスト削減や負担金制度の導入等により、安価で効率的な防犯灯の設置を行い、防犯対策の向上を目指す。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—